



ゴトゴト。
ひと駅ごとの
電車旅。



10周年の春に眺める

香川県立東山魁夷せとうち美術館

美術館から望む瀬戸大橋架橋の島・瀬石島は、東山魁夷画伯の祖父が生まれた島。そのご縁から、画伯の版画作品270点余の寄贈を受け、平成17年4月「香川県立東山魁夷せとうち美術館」が誕生しました。

世界的建築家である谷口吉生氏の設計による建物は、瀬戸大橋のライトグレーを提唱した東山画伯の美術館にふさわしい周囲に溶け込むようなモスグリーン。印象的な開口部を持つ館内に入って作品を楽しんだ後は、ラウンジから島を浮かべた瀬戸内海や大橋の景観を楽しむこともできます。

今年は開館10周年を迎え、春と秋に特別展を予定。春は東山と同じ時代に日展を中心に活躍を続け、日本画の革新に情熱を注いだ杉山家と高山辰雄、両画伯の作品も併せて展示し、見逃せない三人展を開催します。

春の特別展 / 4月17日(金)～5月31日(日)

【問い合わせ】香川県立東山魁夷せとうち美術館 TEL0877-44-1333



木々が目覚める季節には、ひと駅ごとに止まるローカル電車の旅がいい。街を抜け、田畑を横切り、里へ海へと線路は続き、車窓からの眺めはゆっくり変わっていく。気になる場所があれば立ち寄ってもいい。急がず慌てずマイペース。春の訪れのように穏やかな旅を楽しむ。

ゴトゴト。 ひと駅ごとの 電車旅。

ローカル電車
「ことでん」。



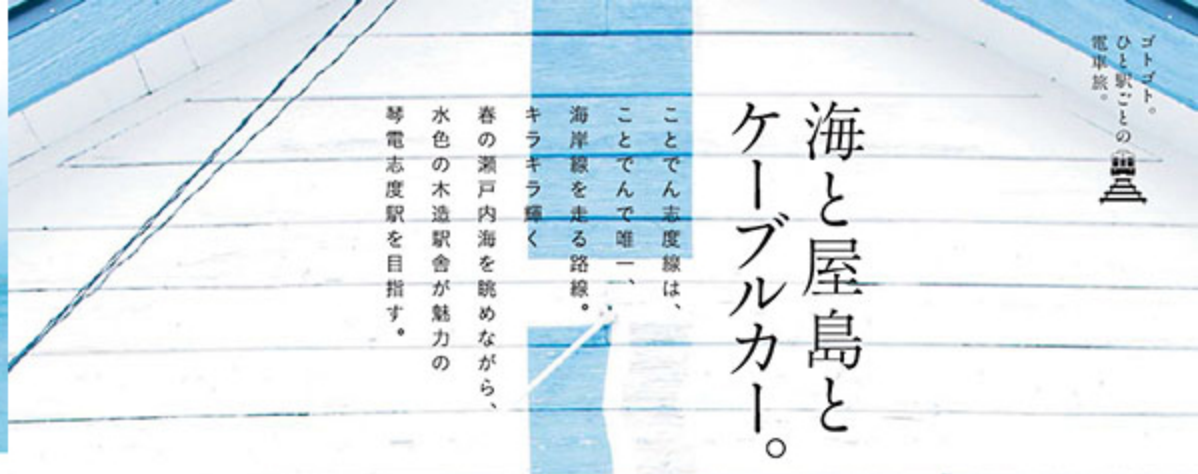
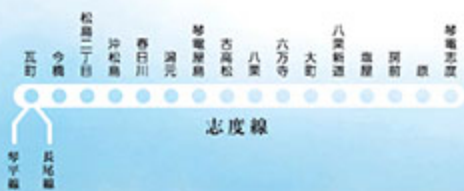
香川には、地元の足として長く愛されているローカル電鉄「ことでん」がある。高松築港駅を起点に、金刀比羅宮のある琴平町へ向かう「琴平線」など路線は3つ。主に他社で活躍していた古い車両が現役で走っており、イベントなどでは大正時代のレトロな車両が運行することもある。マスコットキャラクターはイルカの「ことちゃん」。休日には「ことちゃん」が乗車していることもあり、小さなサブライズを演出している。ICカード「Iruca(イルカ)」をはじめ、さまざまなグッズが発売されており、お土産物としても人気だ。観光にうってつけなのは、「1日フリーきっぷ」。大人1230円、子ども620円で終日乗り放題となる。



【問い合わせ】
 高松琴平電気鉄道株式会社 運転営業課 TEL087-831-6008
 高松市観光交流課 TEL087-839-2416
 さぬき市商工観光課 TEL087-894-1114
 琴平町観光協会 TEL0877-75-3500

海と屋島と ケーブルカー。

ことんでん志度線は、
ことんでんで唯一、
海岸線を走る路線。
キラキラ輝く
春の瀬戸内海を眺めながら、
水色の木造駅舎が魅力の
琴電志度駅を目指す。



屋島神社

【途中下車】 琴電屋島駅



琴電屋島駅から歩いて5分ほどで源平の古戦場として有名な屋島に着く。館だけでも、四国各地から古い民家を移築した「四国村」や、徳川家康を祭った屋島神社など見どころが多い。屋島神社は、左基五郎の六世、五代目の左利平忠能が手掛けており、鳳凰の彫刻が刻まれた神門が当時のまま残されている。



【途中下車】 八栗駅

八栗駅から約2km北に、四国霊場85番札所・八栗寺がある。標高375mの五刻山の8合目に位置するため、多くの参拝者は館からケーブルカーを利用して見る。見るからにレトロなケーブルカーは、昭和39年に製造された貴重なもの。何とも愛らしい表情に、心が和む。

【途中下車】 塩屋駅

塩屋駅から歩いて3分ほど



ジョージナカシマ記念館

にある「ジョージナカシマ記念館」。米國で成功を収めた世界的な家具デザイナーの作品が約70点展示されている。1階にあるカフェでは、名品に体を委ねてお茶を楽しむ。カフェの梁に残された、イサム・ノグチ、猪熊弦一郎、流政之、剣持勇らのサインも見どころ。



八栗ケーブル

【終点】 琴電志度駅



志度の街で愛される
素材な生姜糖「竹林糖」。

終点の志度駅では、昭和初期に建てられた木造の駅舎が迎えてくれる。志度の街は、江戸時代の発明家・平賀源内の生地。あちらこちらに源内ゆかりのスポットがある。駅から歩いて8分ほどで四国霊場86番札所・志度寺へ、金剛力士像に守られた仁王門の先には高さ33mの五重塔がある。



志度寺



琴平線

最古の 芝居小屋が にぎわう春。

ことでん琴平線の終点は、
金刀比羅宮の門前町。
ここにある日本最古の
芝居小屋「金丸座」では、
毎春「四国こんびら歌舞伎大芝居」
が開催され、街が華やぐ。

〔途中下車〕 栗林公園駅

駅から10分ほどの距離に特別名勝・栗林公園がある。高松藩歴代の藩主がお茶を楽しむ景色を愛したかつての大名庭園。現在も、掬月亭・日暮亭の両茶室では食事やお茶を楽しむ。園内の風景を湖面から眺める和船の周遊も好評で、船頭の解説を聞きながら、ひととき藩主の気分を味わえる。

〔途中下車〕 仏生山駅

仏生山は高松藩松平家の菩提寺・法然寺の門前町。300年以上の歴史ある法然寺には、2011年、五重塔が完成して話題となった。駅から法然寺に向かう本町通りは、古い商家や町家が残っており、その風情を生かしたままカフェなどに生まれ変わっている。その中心的な施設・仏生山温泉でひと休みしたい。



特別名勝 栗林公園

〔終点〕 琴電琴平駅

琴電琴平駅を降りると、そこは金刀比羅宮の門前町。駅舎のすぐ横には、高さ27・6mの高灯籠がそびえる。江戸時代、瀬戸内海を航海する船のために建てられたものだという。高灯籠を背に参道を進んでいくと、名高い1368段の石段が待ち構える。急がず、自分のペースで登ることが肝心だ。疲れた時、後ろを振り返ると、思いがけず広がる讃岐平野に癒やされる。

参道からほんの少し外れると、現存する日本最古の芝居小屋・旧金毘羅大芝居「金丸座」がある。毎年4月には、「四国こんびら歌舞伎大芝居」が公演され、多くの人がここを訪れる。芝居の熱気が、街に春を告げる。



高灯籠



金丸座



仏生山温泉



法然寺





知事 先生の専門は宇宙物理学、壮大なスケールの学問に挑んでおられます。さらに東京大学の名誉教授であり、自然科学研究機構の機構長を務められ、我が国における科学の発展に多大な功績を重ねてこられました。これまで紫綬褒章や日本学士院賞など数々の受賞歴がありますが、昨春秋には文化功労者を受賞なさいました。また、知事表彰(特別功労)を受けていただきありがとうございます。

佐藤 私の研究というのは、子どもたち誰もが描くような夢、単純な疑問を科学、特に物理学で解明しようというものです。実は、私の理論は30年前のもの、いわゆる相対性理論や量子論という物理学の法則を使って、宇宙を理論的に解明しようという取り組みでございました。そして、この30年間、人工衛星

のです。私も京都大学時代には胸をときめかせて先生の講義を聴かせていただきました。

知事 佐藤先生のご本を読ませていただいて、まさにゴッギャンの絵のタイトルのような「われわれはどこから来たのかわれわれは何者かわれわれはどこへ行くのか」という哲学的なことが、理論物理学の根本にはあるのだと気が付きました。

佐藤 これは、年齢を重ねてから思うようになってきたことですが、我々がこの広い世界の中でどういう位置にあるのかを研究するのが自然科学の目的ではないかと思えます。つまり、自分自身を知ろうと思えば、この世界はどのように成り立ち、そこに人類はどのように生まれてきたのかということを知りたくります。宇宙の研究だけでなく地球物理学や人類学なども併せて、自分の位置が分かって

香川の空と海が育んだ 科学少年の夢



香川県知事
浜田 恵造

くるわけです。けれども、やはり原点は宇宙の始まり。それ以来の宇宙史の中で我々の存在をちゃんと知ること、これが人間にとってみれば、自分の生きる価値を考える手掛かりになると思えます。

知事 そうしたメッセージを込めて、坂出市の「瀬戸大橋記念公園」にある瀬戸大橋記念館ブリッジシアターの映像作品「天空の調べ」の監修も先生に手掛けていただきました。このアニメ映画は宇宙に向かって瀬戸大橋から出発するというストーリー展開で、外国の方にも楽しんでいただける映像作品です。坂出市でお生まれになった先生は、瀬戸内海にも特別な思いをお持ちではないでしょうか。

佐藤 父親が四国海運局に勤めていましたので、海には親しみがあります。小さな釣り船に乗って、父親はよく釣りに出掛けていました。坂出を出発して、宮島まで夜の航海をしたことも印象深く残っています。あの美しい瀬戸内海は忘れられるものではありません。実は小学生のころには絵が得意で、瀬戸内海の絵を描いて県や市の教育委員会から銀賞をもらったこともあり。これだけ多様な鳥がある海というのは、何とも和やかで、子ども時代の思い出としても決して消え去ることのないものです。

つわけですから、実に恵まれております。その香川の子どもたちに科学の面白さをぜひ伝えていきたいですね。物理学は公式や数式が多く登場するなどの理由から、大学受験でも物理学を選ぶ人が非常に少なくなってしまうました。我田引水かもしれませんが、物理学というのは科学の基礎であると思っております。物理学の上には生物学も化学もひいては工学もあるんじゃないでしょうか。これからは、物理学を学べば宇宙のこういうことが解明できるんだということを示しながら、子どもたちの物理への興味を引き出していきたいと思えますね。

今年の秋には瀬戸大橋記念館で講演をさせていただきます。今年のことになりました。おそらく聴衆は高校生のようですので、科学の話や宇宙の研究の面白さを伝えたいと考えています。これからは、ますます香川の子どもたちが生き生きと学べるような教育を推進していただきたいと思えます。

知事 我々も一生懸命、科学の未来を聞く人材発掘や育成に力を入れていきたいと思えます。今後ともぜひよろしくお願いたします。本日は本当にありがとうございます。

での観測、光電子の画期的な発明、コンピュータを使っての膨大な星や銀河の解析など、科学技術は目覚ましく進歩しました。こうした技術によって、例えば宇宙の始まりは138億年前と言われているようですが、その途方もない昔のことまで観測できるようにになったのです。面白いことに、宇宙を遠くまで見ることができるようになると、大昔が見えてきます。私たちが目にする太陽でさえ8分前の姿。お隣の銀河であるアンドロメダ銀河は、2300万年前の光を見ていることになりました。遠くを見れば見るほど、昔が見えてくるんですね。そして、その観測の成果が幸いなことに、私が30年前に予測したことと驚くほど一致してきました。これが、物理学という学問の偉大なところですね。

知事 そのご功績が認められて、昨年は天皇陛下からののお招きもあつたと伺っております。

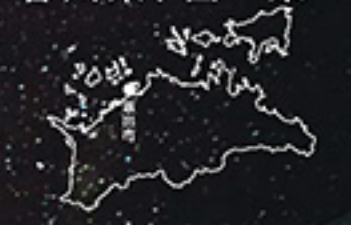
先生は香川県坂出市のご出身ですが、ふるさとを素晴らしい自然環境が、宇宙への関心を育てたのでしょうか。

ようなところで、新月の夜などは天の川がきれいに見えました。この星空のかなたに行ったらどうなるんだろうと思いましたが、子どもころは、ちょうど人工衛星が上がり始め、人類が宇宙に行ける可能性が出てきた時代でした。

知事 30年前というとコンピュータも一般的ではなかった時代です。先生の研究は理論物理学というところで、まさに紙と鉛筆で研究を重ねてこられたのでしょうか。

佐藤 私の子ども時代はまだ戦後の影を引きずっていましたが、大きな実験装置とか望遠鏡があるわけもなく、科学の研究で、日本人が成果を出そうとすれば、それは紙と鉛筆でやるしかなかったんですよ。それを実現されたのが、湯川秀樹博士でした。私たち科学少年は湯川秀樹先生に憧れたものでしょうか。

佐藤 勝彦
1945年香川県坂出市生まれ。
香川県立丸亀高等学校を卒業後、京都大学理学部に入学。
京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了。宇宙物理学専攻、理学博士。
インフレーション宇宙論の提唱者であり、1989年井上物理学賞、90年仁科記念賞、2002年新設賞、10年日本学士院賞、14年文化功労者・香川県文化功労者を受賞。
著・訳書に「観れなくなる宇宙のはなし」、「宇宙論入門—誕生から未来へ」、「ホーキング、宇宙と人間を語る」、「インフレーション宇宙論」、「気がつく未来の宇宙のはなし」など多数。



平成27年の春で架橋27年目となる瀬戸大橋。昨年80周年を迎えた瀬戸内海国立公園に架かる美しい橋は、20世紀人類の英知と最新の科学技術の結集と言われ、多くの人々に感動を与えてきた。この橋の架橋を記念して、誕生したのが瀬戸大橋記念公園。

瀬戸大橋の眺望が素晴らしいこの公園は周辺地域も含め、香川県のアートの発信基地として、“アートポート瀬戸大橋”という愛称で呼ばれるようになった。春の海を楽しむにも、芸術作品を鑑賞するにも、瀬戸大橋架橋の歴史や技術を学び、さらに未来への夢を育むにもふさわしいこのエリア。歴史あり、芸術あり、科学ありの“アートポート瀬戸大橋”で、この春、心地よい刺激を受けてみたい。

ブリッジシアター

春の潮風に誘われて 瀬戸大橋記念公園へ

アートポート
瀬戸大橋

宇宙につながる橋

瀬戸大橋が目前に迫る道の駅「瀬戸大橋記念公園」。ここにある瀬戸大橋記念館は入館無料で、大橋完成までの壮大なドラマや架橋技術に触れることができる。注目は、まるで空を飛んでいるような映像が体験できる「ブリッジシアター」。瀬戸大橋開通25周年を記念して、さらに高精細で迫力のデジタルシステムに生まれ変わり、新たなプログラムも魅力的だ。坂出市出身の東京大学名誉教授で自然科学研究機構長の重責を担う佐藤勝彦氏の監督によるオリジナル全天周映像作品「天空の調べ」。アニメやCG、実写の映像を交えながら瀬戸大橋から宇宙にまで夢が広がる壮大なスケール



瀬戸大橋記念館内部

美を訪ねる

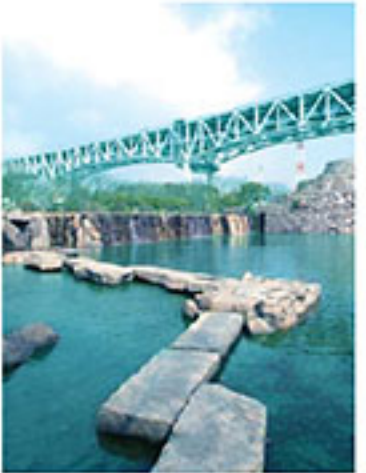
この公園にはアート作品も点在している。例えば公園の誕生当時から二帯を守るようにその存在感を放つのが流政之氏の作の「どだま獅子」。瀬戸内海の守り神となることを願い、架橋の橋脚となった島々をはじめ、瀬戸内海周辺の石を積み重ね彫刻を施している。また園内には、「刻月亭」や「甲之池」、石積みの山「鬼屏風」、その下をくぐることでできる「くぐり滝」などがあり、国内最大級の木造ドーム「マリンドーム」やアートの祭典として世界的にも人気の高い瀬戸内国際芸術祭2013の作品である「八人九脚」からは瀬戸内海と瀬戸大橋を望むことができる。また、廻路の札所のように番号が付けられた石造りの「廻路ギャラリー」もある。



八人九脚から瀬戸大橋を臨む

時空の旅路

東山魁夷せとうち美術館前には球技場などもあり、競技大会などが開催されている。また、傍らには、瀬戸内国際芸術祭2013で創作されたターニャ・プレミンガー氏の作品「階層・地層・層」がある。さらにアートポートから足を伸ばした沙弥島には、柿本人麻呂ゆかりの歌碑をはじめ、旧石器時代などの遺跡、古墳もあり、ここからの海や大橋の眺めも素晴らしい。



瀬戸大橋記念館外観



の作品だ。また、河口洋二郎氏制作のCGアート全天周映像作品「Egggy Land in SETO」。プラネタリウム全天周映像作品「GOODNIGHT GOLDILOCKS 太陽系外惑星の世界」も見逃さない。



沙弥島ナカダ浜

瀬戸大橋記念館 TEL0877-45-2344
香川県坂出市番の州緑町6番地13
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～31日GWと夏休み期間は開館
開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
入場料・観覧料：無料
<http://www.setoohashi.com/>

「さぬきダイニング」認定店舗(16店舗)

- イタリア料理 アクアフォンテ ●ワインとお食事のお店 旭屋
- ALICE IN TAKAMATSU by QUEEN ALICE ●永安亭
- フランス料理 テラスレストラン 海の星 ●中国料理 華宮
- 日本料理 鳥居 真里 ●レストラントモシロ イノウエ ●季節料理・お弁当 福
- 中国料理 北京 本館 ●海鮮・寿司・地酒 はくろ屋
- まろのシューレ963「カフェ963」 ●Ristorante FURYU
- 高級フレンチ ラトリエール・マ ●ソーダダイニング&バー 時香(じこ)
- グリル&ワイン レガール (50食席)

公式ホームページは [さぬきダイニング](http://www.sanuki-dining.com) **検索**

米、野菜、肉、魚、酒など香川県産の優れた食材を使用して、魅力的な料理として表現しているレストランが「さぬきダイニング」です。認定店では、メニューの開発やワークショップの開催などに取り組んでいます。現在16店舗ある認定店から、シリーズで紹介していきます。

※各店舗の料理は季節によって異なります。

県産食材の魅力を発信する 香川県認定のレストラン。 さぬきダイニング



片側全面のガラス窓により圧倒的な開放感がある
写真 渡邊伸

香川県高松市琴平町
TEL 087-892-2030(代表)
営業時間 朝食7:30~10:00(L09:30)、夕食18:00~21:30(L021:00)
※朝食は前日客向け
定休日 無休
ホームページ <http://www.benesse-artsite.jp/benessehouse/>

季節に応じた地元食材で
吉野建氏のイメージを表現。

フランス料理 テラスレストラン 海の星 Etoile de la mer

「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに美術館とホテルが一体となった直島のベネッセハウス。そこに隣接する本格レストランは、本場フランスでも名をはせる吉野建氏をアドバイザーに選んでいます。提携している直島の農家をはじめ、地元・香川と瀬戸内海が育んだ季節の食材を用いて、吉野氏の持つイメージを一つごとに意匠に表現。場所柄、多く訪れる海外の方の舌も喜ばせています。



世界中からゲストが訪れる
写真 渡邊伸



ガラス窓の向こうには瀬戸内海が見える
写真 渡邊伸



マナガツオのカダイフ包み

丸亀市三島町526-7
TEL 0877-85-9803
営業時間 11:30~L013:30、17:30~L020:00
定休日 月曜・毎月1回不定休
ホームページ <http://www.le-mas.jp/>

シェフとの語り合いも楽しい
オープンキッチン。

讃岐フレンチ ラトリエール・マ

昨年、さぬき市から現在の地に移転したフレンチレストラン。店内に足を踏み入れると、カウンター席がメインのオープンキッチンであることに驚きます。「食べている方の満足の具合が顔に出る。それを見ながらの仕事なので緊張感があります」と、オーナーシェフの磯野氏。記念日に利用する方が多いことから、節目となった日のことを料理と共に思い出せるような一品を、地元の食材を使って提供しています。



オーリーブ牛と讃岐夢豚のトマト煮込み



シェフとの距離が近いカウンター席



讃岐夢豚のバテ・カンパニー

高松市瓦町1丁目9-25
TEL 087-836-9101
営業時間 17:30~24:00(L023:00) (祝~23:00(L022:00))
※金曜、土曜、祭日は料理の注文は20時までコース料理のみ
定休日 日曜
ホームページ <http://www.dinkum.jp>



サワラのポワレ 春菊のクリームソース



ゆっくり落ち着いた時間を過ごせる



前菜とパスタがセットになるランチメニュー。その日の仕入れで料理が決まる

小豆郡小豆島町草壁本町872-2
TEL 0878-82-2707
営業時間 11:30~14:30、17:30~21:00
定休日 木曜、第1・第3水曜
予約制
ホームページ <http://furyu.co>

窓からの瀬戸内の風景と共に味わう
その日限りのコース。

Ristorante FURYU (リストランテ フリュウ)

オーナーシェフの渋谷氏が小豆島の豊かな自然に魅了され、オープンさせたイタリアンレストラン。オーリーブオイルやレモン、野菜、魚介類、新鮮な素材がすぐ近くで手に入るイタリア料理には最高に恵まれた環境。旬の自然な食材の持ち味を生かすため、その日に入った地元の食材を中心に据えてメニューを組み立てています。素材を生かした飾りすぎない味は、ランチ・ディナーとも予約制で楽しめます。



夜をよった先にイタリアの国旗がはためく



店内からは瀬戸内海が見える

香川産品 せとうち旬新館

KAGAWA EHIME
SETOUCHI SHUN SAI KAN
東京・新橋アンテナショップ
特産品、郷土料理、観光交流コーナーで香川の旬をぜひどうぞ



3月1日(日)~5月31日(日)
「高松のご自慢産品大集合フェア」
を開催します **注目はこれ!**

高松の特産品を中心に、香川の魅力をご紹介します。うどんや栗菓子、ラスクなどの食はもちろん、色遣のスプーンやフォーク、モダンな石材商品などの工芸品を取りそろえ、多彩な高松の魅力を集めました。庵治石と香川産器がコラボした話題の石臼も登場。コーヒーやお茶、大豆などがひけ、自分だけの楽しみ方を見付けられます。ぜひお越しください。

2F 郷土・せとうち料理「かおりひめ」では、フェア期間中、讃岐三斎や桜鯛、イダコ、オコゼなどが登場。特別ランチメニューは、オリーブ牛、讃岐夢豚、讃岐コーチンがそろった丼に、さぬきの夢100%の(ミニ)うどんが付いた超お得なセットです。ぜひお楽しみください。



讃岐三斎丼とミニうどんセット

観光交流コーナー TEL03-3574-2028
東京都港区新橋2-19-10新橋マリビル1,2階
<http://www.setouchi-shunsaikan.com>

ここも
要チェック!

4月3日(金)~5日(日)
船場大創業祭「地方物産展」に出展します

オリーブオイルや香少糖関連商品などのほか、瀬戸内産のイリコを練り込んだ「しもうどん」も販売。



香川県大阪事務所
TEL06-6281-1661
大阪市中央区東心斎橋1丁目
18-24クロスシティ心斎橋4F
※開店時間要確認

3月21日(土・祝)~29日(日)
かがわ物産館「栗林庵」開店2周年感謝祭を開催

日頃の感謝を込めて、香川のいいもの、美味しいものをご用意しています。桜とともに、ぜひ栗林庵へ。



かがわ物産館「栗林庵」
TEL087-812-3155
高松市栗林町1丁目20番16号
※開店時間要確認

※栗林公園のライトアップ期間中は、夜9時まで営業。

【大阪で味わえる香川の恵み】

香川の食材に大阪で出合った。
まずは大阪で。次はぜひ本場香川へ

優しい甘さ、幸せの味 和三盆ロールケーキ

「和三盆」とは、職人が盆の上で3日間研ぐことから付けられた名前。手間暇かけたからこそ生まれる優しい甘さは、温かい讃岐の味です。香川県の東讃エリアで栽培されるサトウキビ(竹蔗)をもとに、江戸時代から変わらぬ製法で受け継がれています。

大阪の太閤園にあるカフェ、ブリエヴェールでは、和三盆糖を使ったロールケーキがいただけます。「和三盆糖は他の砂糖と違って甘さが柔らかく、くどさが残らない」と教えてくれたのは、パティシエの大上シェフ。「和三盆糖を使うことで、生地はしっとり、優しい甘さのロールケーキに仕上がります」のだそう。最初はウェディングコースのみで提供していましたが、その人気からカフェのメニューにも取り入れ、今では定番商品に。テイクアウトでもお買い求めいただけます。



西国出身の大上シェフ

【太閤園 カフェ ブリエヴェール】
大阪市都島区綱島町9-10
TEL06-6356-1111(代表)
<http://www.taiko-en.com/>



美しい日本庭園が見渡せる店内でいただくケーキは、食べた人を笑顔にしてくれる幸せの味。大上シェフの優しい思いが詰まった逸品をぜひ一度、ご賞味ください。



春の夜桜が桜色に染まる 栗林公園 春のライトアップ

栗林公園では、3月28日(土)から4月6日(月)までの10日間、春のライトアップを行います。園内にある約300本の桜が見ごろを迎える中、桜の見どころが多い北庭を中心に、心が弾む夜桜のトンネルなど、昼とは違う夜の散策を楽しんでいただけます。

北庭では、人気の和船の夜間運航を実施。そのほか、讃岐うどんや花見だんごなどの屋台も開き、宴を盛り上げます。青園に浮かび上がる桜や鮮やかな松の緑、そして湖面に映し出された幻想的な空間は、一見の価値あり。



【問い合わせ】栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411
※開園時間要確認 <http://ritsuringarden.jp/>

日本を代表するモダニズム建築 香川県庁舎東館の ガイドツアーを開催中

1958年(昭和33年)竣工の香川県庁舎東館は、世界的な建築家・丹下健三氏の初期の代表作。日本の伝統的な建築様式をコンクリートで表現した「モダニズム(近代)建築」として、DOCOMOMO20(国際組織DOCOMOMO日本支部が選ぶ文化遺産としての近代建築20選)にも庁舎建築として唯一選ばれるなど、文化的価値が高く評価されています。

香川県では、その価値を知ってもらおうと、県職員による無料のガイドツアーを開催しています。木造建築の柱と梁の組み合わせをイメージさせる外観、誰もが気軽に立ち寄り、くつろぎながら楽しめる開放的なロビーやロビーのほか、全面ガラス張りのロビーと調和した、香川県出身の洋画家・猪熊弦一郎氏による陶板壁画「和敬清寂」や県庁ホール、8階多目的スペースなどを約1時間かけて巡ります。

県民の防災拠点であり、文化的価値を誇る香川県庁舎東館の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



壁画「和敬清寂」作 猪熊弦一郎

香川県庁舎東館ガイドツアー

【対象】5名~20名程度のグループ
【実施日時】月~金曜日(祝祭日、年末年始を除く)
9時~11時、13時~16時の間に開始 ※予約制・無料
【予約・問い合わせ】香川県観光課 TEL087-832-3075

香川県庁舎東館ガイドツアー

大阪で県産品の魅力を発信 「さぬきうまいもん祭り in 大阪」を開催

1月末、ホテル日航大阪(大阪市中央区)で「さぬきうまいもん祭りin大阪」を開催しました。このイベントは、関西圏のマスコットやブロッカー、百貨店バイヤーなどの方々に、香川の食材を使った料理を試食していただき、香川の「食」の魅力をPRするものです。

今回は、スペシャルメニューとして、「第2回地場もん国民大賞」で銀賞に輝いた「オリーブ牛肉うどん」や、香川のいちご(さぬきひめ)と希少糖含有シロップを使ったスペシャルパフェを紹介したほか、オリーブ牛や讃岐夢豚、旬の県産野菜を使った料理や、新酒の利き酒を行うなど、県産食材を幅広くPRしました。また、会場には讃岐うどんツルキャラ「うどん豚」や観光PR隊「うどん県 おいでまいキャラバン隊」も登場し、会場を盛り上げてくれました。香川県では、このようなイベントを通じて、香川の多彩な「食」の魅力を発信しています。



【問い合わせ】香川県産品振興課 TEL087-832-3385
LOVEさぬきさん <http://www.kensanpin.or.jp/>

思いを届けるお手伝いを <小豆島に移住 西脇 美津江さん>

「小豆島には、地元の人たちの顔が見える関係がある。お花を贈る人、贈られる人のことを考えて、より気持ちを込めたアレンジメントができる。」と話すのは、西脇美津江さん。

東京でウェディングのフラワーアレンジメントをしていた西脇さんは、初めて訪れた小豆島で、オリーブの美しさと、多様さに心ひかれ、オリーブを育ててみたいと移住を決定。とりあえず3年住んでみようとして平成21年に小豆島へ来ましたが、その後住み続けることに。「移住は大きな決断でしたが、島の皆さんが受け入れてくれたことが力になった」そうです。

3年前にはフラワーショップ「pensée(パンセ)」をオープン。色とりどりの花や植物が並ぶ店内には、オリーブの盆栽やリース、キャンドルなど西脇さんならではの作品が並びます。1人で始めたお店も、今では東京から移住してきた友人と二人で切り盛りしています。「島の豊かな自然や温かい人たちののおかげで、以前の自分より少し前向きになれた気がする」と西脇さん。今後は、「小豆島の花屋だからこそできるアレンジメントを県外に発信していきたい」と笑顔で話してくれました。



フラワーショップ「pensée(パンセ)」

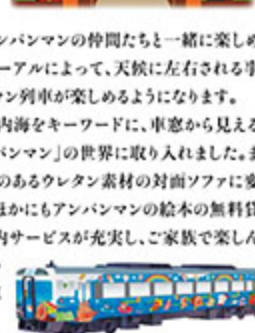
【問い合わせ】香川県地域づくり推進室 TEL087-832-3125
えん・さぬき <http://www.pref.kagawa.jp/seisaku/eeekagawa/>

瀬戸内海の風景がアンパンマンの世界に 新生「アンパンマン トロッコ列車」がデビュー

3月21日から、岡山~高松間、岡山~琴平間で運行している「瀬戸大橋アンパンマントロッコ号」がリニューアルされます。

瀬戸内海の大パノラマの中を、潮風を感じながらアンパンマンの仲間たちと一緒に楽しめる列車として大人気!リニューアルによって、天候に左右される事なく、全ての区間でアンパンマン列車が楽しめるようになります。

外装は、瀬戸大橋や瀬戸内海をキーワードに、車窓から見える主な島々を「それいけ!アンパンマン」の世界に取り入れました。また、座席部分はクッション性のあるウレタン素材の対面ソファに変更し、木製テーブルを設置。ほかにもアンパンマンの絵本の無料貸し出しや記念撮影などの車内サービスが充実し、ご家族で楽しんでいただける列車となっています。ぜひアンパンマン列車で香川県へお越しください。



【問い合わせ】JR西国電鉄案内センター TEL0570-00-4592
8時~20時/年中無休/通話料がかかります
アンパンマン列車 <http://www.jr-eki.com/aptrain/index.html>